

3月22日(土)から4月2日(水)に甲子園球場で開催された「第75回選抜高校野球大会」に、中国地区代表として出場し、見事優勝された広陵高校の藤田真弘さん(熊野東中学校出身・城之堀)にインタビューしました。

広陵高等学校野球部主将
藤田真弘さん

第75回選抜高校野球大会 優勝おめでとう!!

どんなきっかけで野球を始めましたか?

— 父親が野球をしていた影響で、小学校5年の時から始めました。

甲子園に出場が決まった時の気持ち教えてください。

— 出場することよりも、甲子園で優勝することが目標だったので、ホッとしました。

甲子園ではどんな気持ちで試合に臨みましたか?

— 今までやってきたことに自信があったので、それを出しきることを、やってきたことを信じることを心がけました。

決勝戦前のチームの雰囲気はどうでしたか?

— 決勝戦前という特別な意識はなく、リラックスしていました。決勝の舞台を楽しんで、思い切りプレーしようという雰囲気でした。

優勝したときの気持ちは?

『時間が止まって欲しかった……』

決勝戦でホームランを打った時の気持ちを教えてください。

— 次のバッターにつなぐことだけ考えていました。アルプススタンドの応援が力になり、ホームランという結果につながったと思います。

優勝が決まった時の気持ちを教えてください。

— 時間が止まってほしかったです。すごく幸せな気持ちでした。

キャプテンとして、チームをどのようにまとめていますか?

— 部員数が多いので、なるべく多くの人と会話することを心がけています。まわりのみんなに助けてもらいながら、まとめることができていると思います。



決勝戦でホームランを打った時の藤田真弘さん

野球をする上でいつも心がけていることは何ですか?

— 自分の力だけでは野球はできないので、周囲のたくさんの人達のおかげだと、感謝の気持ちを忘れないようにしています。

野球を通して得たことが生活に生かされていますか?

— 寮生活をしています。みんなが信じあつて、一つになつて行動するということが一番生かされていると思います。

今後の目標を教えてください。

— 今回の優勝を糧に、今後も練習に励んで、春夏連覇を目指します。

熊野町の子どもたちにメッセージをお願いします。

— 野球をしたくてもできない人もいます。野球をすることができる環境があることに感謝と幸せを感じて、頑張ってください!

ありがとうございます。これからも、ご活躍を期待しています。

(生涯学習課)